

国立病院理学療法士協議会

九州部会

会報誌 vol.23

Sep.2017



卷頭言	・ ・ ・ ・ ・	1
会告	・ ・ ・ ・ ・	2
活動報告	・ ・ ・ ・ ・	3
活動計画	・ ・ ・ ・ ・	13
議事録	・ ・ ・ ・ ・	16
会員投稿	・ ・ ・ ・ ・	19
役員名簿	・ ・ ・ ・ ・	21
第 45 期活動スケジュール		22

変革の時代に柔軟に対応しよう！

国立病院理学療法士協議会九州部会

会長 梶原 秀明（大分医療センター）

私が会長を務めて6年が経過しました。会長を拝命した2011年（平成23年）は2025年問題がクローズアップされ始めた頃であり、2011年の介護保険法改正でその条文中に、「自治体が地域包括ケアシステム推進の義務を担う」と明記されたことより、各自治体とも本格的な準備にとりかかろうとしていました。それから6年が経ち、各自治体での様々な取り組みが行われているところです。来年度は2年に一度の診療報酬改定と3年に一度の介護報酬改定とのダブル改定となります。また「第7次医療計画」「第3期医療費適正化計画」「第7期介護保険事業計画」のトリプル計画が始まるとのことで2025年まで残り数年となり、本格的な動きがみられることとなります。第7次医療計画では病床再編成の具現化がなされ、急性期から回復期への病床転換、慢性期から在宅医療へのシフトが進むと予想されます。第3期医療費適正化計画では、地域医療構想に沿った形で、医療費全体の適正化が図られます。第7期介護保険事業計画では、介護予防の推進、自立支援に資するサービスへの転換、在宅での重度化へ対応ができる医療介護連携の確立などが重点項目になるようです。いずれにしても消費税増税の延期で財源が厳しい中での動きであり、必要な部分には予算配分されますが、そうでないものは省かれるということが一層明確になるものと思われます。

九州管内施設でも地域包括ケア病棟（病床）を運営する施設が増えてまいりました。先日当協議会で開催した、地域包括ケアに関する研修会では病棟（病床）運営についての現状や、現在抱えている問題点など個別に報告していただきました。どの施設も同じような問題を抱える中、それぞれの施設が工夫し対応している様子が伺えました。地域包括ケア病棟（病床）の運営は地域包括ケアシステムの一翼を担うものと考えますが、リハ実施対象者については一日平均2単位以上の実施ということで量的な規定しかされていません。リハスタッフが量的な担保のために振り回されている現状があります。その実施内容について質の面からの評価がなければ一向に問題の解決には至らないような気がします。対象患者一人一人の評価をしっかりと行い、画一的なプログラムではなく、その問題に応じた適切なプログラムを作成し実施していくことが望まれます。

このような社会情勢の中で、これからまた変革の時代は続くことになります。最近、様々な場面でチャールズ・ダーウィンの明言を見聞します。私も憚らず引用させていただくと、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」というものです。我々は2025年問題を乗り越えたその後も見据え活動していかなければなりません。個々のスタッフがその時代の変革に対応していける能力を身に付け、柔軟に対応できる組織を作り上げていきましょう！

会告

事務局より

平成 29 年度(第 44 期)国立病院理学療法士協議会九州部会総会開催のお知らせ

会員各位

国立病院理学療法士協議会 九州部会
会 長 梶 原 秀 明

第 44 期総会、研修会、職場長会議、理事会ならびに懇親会を下記のとおり開催いたします。ご多用のこととは存じますが万障お繰り合わせのうえご出席下さい。

記

会 期 平成 29 年 9 月 2 日 土曜日
会 場 国立病院機構福岡東医療センター 研修センター2・3 (外来管理診療棟 3 階)
住 所 福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1-1
日 程

11 : 00 ~ 12 : 00	理 事 会
12 : 00 ~ 13 : 00	職場長会議
13 : 00 ~ 13 : 30	総 会 受 付
13 : 30 ~ 15 : 00	第 44 期 総 会
15 : 10 ~ 16 : 10	PT・OT・ST 合同研修会 テーマ : 『リハスタッフが知っておきたい放射線治療 ~治療の実際とその効果~』 講師 : 九州がんセンター放射線科医師 稲盛真人 先生
16 : 20 ~ 16 : 35	職場環境を考える会アンケート報告
16 : 35 ~ 17 : 00	理学療法専門職・作業療法専門職との懇談会 (PT・OT・ST 合同)
18 : 00 ~ 20 : 00	懇親会 (PT・OT・ST 合同) 会 場 八仙閣 古賀市舞の里 3 丁目 15-40 会 費 4,000 円
理事会・総会 予 定 議 題	1. 第 44 期活動報告・決算 2. 第 45 期活動計画・予算案 3. 役員改選 4. その他

国立病院理学療法士協議会 九州部会活動報告

第 44 期 活動報告

総括

2025 年が迫る中、それに向けた対策、機構の役割であるセーフティネット系の充実、人材教育を中心に活動を行った。

学術面について、研修ではセーフティネット系としての神経筋疾患についての研修は 2 回目を数え、施設の取り組みについて多くの施設からの報告が成された。地域包括ケアについての研修を行うことが出来た。心臓リハビリの研修は 5 回目を数え、多職種より講演をいただいた。主に新人スタッフを対象とした研修を計画したが天候の関係で実現には至らなかった。関係スタッフには大変感謝申し上げたい。学会関係では、第 6 回の部会学会が九州グループ医療担当参事を招聘し盛会裏に開催された。

新人教育の面では、キャリアアップシステム委員会を中心に開催されている新人教育担当者（プリセプター）養成講習会の開催が定着し、5 回目の講習会が開催された。

その他、会報誌については厳しい予算の中ではあるが、今回も毎期の活動の締めくくりとしての業績集及び総会資料という形で発行させることができた。地区の活動についても継続して頂いており、特に佐賀・長崎県、鹿児島・宮崎県の県をまたいだ合同研修会は参加者も多く学術面の向上のみならず施設間の交流を深めることが出来ているものと評価する。

協議会として一通り予定行事を実施できてはいるが、昨年活動計画の中に目標として書かせていただいた、会員数の増加やポスト増については十分な働きかけが出来ず、成果は上げられていない。今後の継続目標と考えたい。

活動内容

会長・
副会長

1. 本部協議会開催行事
 - 1) 第 30 回 国立病院理学療法士協議会理事会 (H28. 11. 10 那覇市：梶原)
 - 2) 第 43 回 国立病院理学療法士協議会総会 (H28. 11. 11 那覇市：梶原・坂本)
 - 3) 第 31 回 国立病院理学療法士協議会理事会 (H29. 6. 3 東京医セン：梶原)
2. 九州部会関係
 - ・ PT・OT・ST 連絡会 H29. 5. 26 九州医療センター（梶原）（P. 16）
 - ・ 職場環境を考える会
H29. 8. 18：サンメッセ鳥栖（梶原・坂本・羽島専門職）
 - ・ 役員会 H29. 5. 19：大分県玖珠郡玖珠町（梶原・坂本・大浦）
（P. 17～18）
 - ・ 職場長会議開催 2 回
H29. 1. 28：佐賀病院（梶原・坂本・大浦）
H29. 9. 2：福岡東医療センター（梶原・坂本・大浦）
3. 平成 29 年度 NH0 九州グループ新規採用者研修講師
 - ・ H29. 4. 15 九州医療センター附属看護助産学校（梶原）
4. 国立病院九州医療技術協議会関係
 - 理事会参加
 - ・ H29. 1. 20 九州医療センター（梶原）
 - ・ H29. 6. 30 九州医療センター（梶原）グループ理事との懇談含む

活動報告

理事会	<ol style="list-style-type: none"> 理事会開催 第 20 回理事会（H29. 1. 28 佐賀病院） 第 21 回理事会（H29. 9. 2 福岡東医療センター）
事務局	<ol style="list-style-type: none"> 文書発送（随時） 会員管理 会費徴収 総会、理事会、職場長会議議事録作成 協議会ホームページ管理（H. P. 担当）
学会局	<ol style="list-style-type: none"> 第 6 回国立病院理学療法士協議会九州部会学会（P. 6～7） 日時：平成 29 年 1 月 28 日（土）会場：佐賀病院 研修ホール（参加数 80 名） テーマ：来るべき未来に向かって～toward the upcoming future～ 学会長：佐賀病院 副理学療法士長口石 智秀 氏（現：菊池恵楓園 副理学療法士長） 特別講演：福泉公仁隆氏（前：九州グループ医療担当参事） 発表演題数：9 演題 平成 28 年度業績集作成 平成 28 年度末までに学会局宛に報告をして頂いた分で業績集を作成。 当初は、ホームページ上に掲載予定でしたが、より会員の皆様に周知していただけるように各職場長宛にメールでの報告をさせていただくことを総会にて同意いただいて実施する予定です。
研修局	<ol style="list-style-type: none"> P T ・ O T ・ S T 合同研修会（P. 7） 平成 28 年 9 月 10 日（土） 福岡東医療センター 第 2 回神経難病・筋ジストロフィー児者研修会（P. 7～8） 平成 28 年 12 月 10 日（土） 九州医療センター 新人職員のためのランクアップ研修～新人療法士の知っておくこととこれから～ 平成 29 年 2 月 11 日（土）※天候不良により中止 第 5 回心臓リハビリテーション研修会（P. 8～9） 平成 29 年 6 月 10 日（土） 福岡東医療センター 地域包括ケア 研修会（P. 9） 平成 29 年 8 月 5 日（土） 大牟田病院
調査局	<ol style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟に関する調査・情報発信 ADL 維持向上等体制加算に関する調査・情報発信 施設リハ部門紹介 2017 年度版の作成
広報局	<ol style="list-style-type: none"> 九州部会会報誌発行（2 回／年） 第 22 号：平成 29 年 5 月 12 日 第 23 号：平成 29 年 9 月 2 日（本誌）

活動報告

地区	福岡	特になし
	佐賀	1. 長崎・佐賀合同研修会、懇親会を開催（P. 10） 平成 29 年 7 月 22 日（土） 会場：嬉野医療センター 参加者：研修会 66 名、懇親会 42 名
	長崎	1. 長崎・佐賀合同研修会、懇親会開催（P. 10） 平成 29 年 7 月 22 日（土） 会場：嬉野医療センター
	大分	特になし
	熊本	1. 熊本県研修会及び懇親会（P. 10） 日時：平成 29 年 7 月 15 日（土）場所：熊本医療センター
	宮崎	1. 宮崎県合同懇親会開催 平成 29 年 2 月 17 日（金） 2. 鹿児島・宮崎県合同研修会開催（P. 11～12） 平成 29 年 7 月 8 日（土） 宮崎東病院
	鹿児島	1. 第 1 回県内懇親会開催 平成 29 年 2 月 2. 鹿児島・宮崎県合同研修会開催（P. 11～12） 平成 29 年 7 月 8 日（土） 宮崎東病院
	沖縄	特になし
選挙管理委員会		九州部会規約第 11 条に基づき下記の通り役員選挙の公示を行った。 立候補受け付けの内訳 ・会長：1 名 ・理事若干名（各県 1 名、総務・学術・広報担当） ・監事：2 名以内 公示日：平成 29 年 6 月 2 日（金） 立候補締切日：平成 27 年 7 月 4 日（火）当日消印有効 * 立候補者、推薦による立候補者が定員に満たなかったため 9 月 2 日（土） の理事会において残りの立候補者を推薦する運びとなった。
キャリアアップシステム 委員会		1. 委員会（参加者：羽島・坂本） 平成 29 年 1 月 6 日（金）：サンメッセ鳥栖 プリセプター養成講習会内容検討 2. 第 5 回プリセプター養成講習会開催 会場：大牟田病院 平成 29 年 3 月 25 日（土）

活動報告

学会報告

第6回国立病院理学療法士協議会九州部会学会

日時：平成 29 年 1 月 28 日（土） 会場：佐賀病院

テーマ：来るべき未来に向かって～toward the upcoming future～

学会長：口石智秀 氏 佐賀病院副理学療法士長（現：菊池恵楓園副理学療法士長）

参加者数：80 名

特別講演

「来るべき未来に向かってリハビリテーション職に求められるもの」

～リハビリテーションと栄養管理は医療の質の向上に貢献する！～

国立病院機構九州グループ 医療担当参事（当時）

福泉 公仁隆氏

一般演題Ⅰ

座長：熊本医療センター運動療法主任 渡邊 靖晃氏

（現：佐賀病院 副理学療法士長）

I-1 腰椎・骨盤帯アライメント不良を呈したTKA術後症例

—ADL 向上の可能性と治療選択—

九州医療センター 速水慶太氏

I-2 長期間の変形性股関節症により痛みに対する破局的思考を認めた症例

長崎病院 原口玲未氏

I-3 アンチエイジング効果を狙って ～骨盤の歪みに対する理学療法～

菊池恵楓園 田島敬介氏

一般演題Ⅱ

座長：福岡病院 運動療法主任足立 仁志氏

Ⅱ-1 インセンティブスパイロメトリーを使用した呼吸理学療法の妥当性

原発性肺癌術後の呼吸機能に与える影響

福岡東医療センター 田中啓一郎氏

（現：九州がんセンター）

Ⅱ-2 多発局所性脳内出血を呈した後重度失語症状が出現し身体機能面へのアプローチに難渋した一症例

別府医療センター 村井康成氏

Ⅱ-3 ICU 獲得性筋力低下患者に対する回復期リハビリテーションの治療介入効果
—能動的運動の促進と多職種連携の必要性に着目して—

長崎病院 宮崎成美 氏

活動報告

一般演題Ⅲ

座長：東佐賀病院 運動療法主任 今村 奈那氏

Ⅲ-1 来たるべき大規模災害時のリハビリテーション支援に向けて

～平成 28 年熊本地震における宮崎 JRAT 第 7 陣の活動報告～

都城医療センター 藤崎 友里氏（作業療法士）

（現：鹿児島医療センター 作業療法士）

Ⅲ-2 病院のセラピストから地域のセラピストへ

～地域におけるリハビリテーション連携推進を目指して～

九州医療センター 米永 悠佑氏（当時）

Ⅲ-3 当院における地域包括ケア病棟の現状と課題

長崎病院 峰松 俊介氏



研修会報告

PT・OT・ST合同研修会

テーマ：「ハラスメントを考える」 一働きやすい職場をめざしてー

日時：平成 28 年 9 月 10 日（土） 会場：福岡東医療センター

座長：西別府病院 理学療法士長 大浦宏樹氏

講師：国立病院機構九州グループ医療担当理学療法専門職

羽島厚裕氏（長崎病院 理学療法士長）

第 2 回 神経難病・筋ジストロフィー児者 研修会

日時：平成 28 年 12 月 10 日（土） 会場：九州医療センター研修室

セッション 1 座長：九州医療センター 運動療法主任 与古田巨海氏

「当院における神経難病・筋ジストロフィー患者に対するカフアシストの使用について」

熊本再春荘病院 理学療法士 渡邊絵理子氏

「人工呼吸器を使用している ALS 患者に対する離床のとりくみ」

長崎病院 理学療法士 西澤敬子氏

（現：長崎医療センター）

活動報告

「カフアシストによる呼吸機能の効果；胸郭拡張差、動肺コンプライアンスの観点から」

西別府病院 理学療法士 加藤浩章 氏

セッション2 座長：長崎医療センター 理学療法士長 坂本浩樹氏

(現：熊本再春荘病院 理学療法士長)

「筋ジストロフィーポートサービスについて」

大牟田病院 理学療法士 松本恭平氏

(現：熊本南病院)

「当院における筋ジス病棟業務の現状」

南九州病院 理学療法士長 吉永隆一郎氏

「当院における神経難病患者への関わりにおける現状と問題点」

熊本南病院 運動療法主任 内田妥美氏

資料配布

「筋ジストロフィー患者の排痰への取り組み～病棟看護師によるカフアシスト使用」

長崎川棚医療センター

「当院における現状と新たな取り組みについて」

宮崎東病院



新人職員のためのランクアップ研修～新人療法士の知っておくこととこれから～

日時：平成29年2月11日（土） ＊天候不良により中止

第5回 心臓リハビリテーション研修会：心不全・再入院

日時：平成29年6月10日（土） 会場：福岡東医療センター

セッション1 講演 1). 「心不全の病態と治療」

福岡東医療センター 循環器科医師 中司元氏

2). 「心不全患者の再発防止における薬剤師の関わり」

福岡東医療センター 薬剤師 田中彩氏

3). 「心臓リハビリテーションにおける管理栄養士の役割」

福岡東医療センター 管理栄養士 木佐貫悠氏

セッション2 ケーススタディ

1). 福岡東医療センター 理学療法士 足立直之氏

2). 福岡東医療センター 作業療法士 尾上諒介氏

セッション3 意見交換



地域包括ケア 研修会

日時：平成 29 年 8 月 5 日（土） 会場：大牟田病院 大牟田カルチャーセンター

セッション1 講演 座長 西別府病院 理学療法士長 大浦宏樹氏

「地域包括ケアシステムについて」

長崎病院 運動療法主任 峰松俊介氏

セッション2 講演 座長 熊本再春荘病院 理学療法士長 坂本浩樹氏

「当院の地域包括ケア病棟（病床）の現状と問題点」

- | | | |
|---------------|--------|--------|
| 1) 熊本南病院 | 理学療法士長 | 藤崎暢 氏 |
| 2) 宮崎病院 | 理学療法士 | 蓬原春樹 氏 |
| 3) 小倉医療センター | 理学療法士長 | 富永了 氏 |
| 4) 長崎川棚医療センター | 運動療法主任 | 篠崎貴志 氏 |
| 5) 熊本再春荘病院 | 理学療法士 | 城戸和雄 氏 |
| 6) 東佐賀病院 | 運動療法主任 | 今村奈那 氏 |
| 7) 長崎病院 | 理学療法士 | 鳥居龍平 氏 |



活動報告

地区活動報告

佐賀地区・長崎地区

平成 29 年度長崎・佐賀合同研修会及び懇親会

日時：平成 29 年 7 月 22 日（土）会場：嬉野医療センター

座長 長崎川棚医療センター 篠崎貴志 氏

佐賀病院 渡邊靖晃 氏

会員発表

①ICU でのリハビリテーションを経験して

嬉野医療センター金丸 裕貴氏

②化膿性膝関節炎術後の可動域改善目的に超音波療法を用いた症例

佐賀病院植村 大夢氏

③精神科病院での理学療法士の役割とは？～現状把握と今後の課題～

肥前精神医療センター植村 優氏

④Gait Solution 付 KAFO の膝と姿勢に着目した歩行研究

東佐賀病院朝日 大介氏

⑤臨床指導者養成コースを受講してみて

長崎病院鳥居 龍平氏

⑥右視床側脳室近傍に BAD 様脳梗塞を呈した症例

長崎医療センター古田 新太郎氏

⑦筋ジストロフィー患者の排痰への取り組み

長崎川棚医療センター深堀 七重氏

懇親会

参加人数：研修会 67 名、懇親会 42 名

熊本県研修会及び懇親会

日時：平成 29 年 7 月 15 日（土）

場所：熊本医療センター 研修センター

研修会：15:00～17:00

（PT14 名・OT3 名・ST1 名 計 18 名参加）

講演：「臨床研究のデザイン構築と統計手法
の方法論」

～学会発表から論文執筆まで～

講師：吉永龍史 氏

（熊本医療センター 理学療法士）

懇親会：18:00～20:00 （12 名参加）



活動報告

鹿児島地区・宮崎地区

平成 29 年度鹿児島・宮崎県合同研修会及び意見交換会

テーマ： これからの医療

平成 29 年 7 月 8 日（土） 会場：宮崎東病院

合同研修会長 宮崎病院 荒井 慎一氏

特別講演

「これからの医療について」

講師：宮崎東病院 事務部長 松下 隆文先生

座長：宮崎東病院 仮上 透氏

会員発表

座長：都城医療センター 出口 敬浩氏

宮崎病院 榎木 大介氏

①両側 TKA の 1 症例に関する考察

宮崎病院 原田 宜昭氏

②心筋梗塞後、高低差を考慮したウォーキングコースを指導した 1 症例

鹿児島医療センター 黒岩 剛成氏

③脳卒中リハビリ部門稼働日数増加における従事者の働きやすさへの影響

鹿児島医療センター 田場 要氏（ST）

④新病棟建て替え紹介

指宿医療センター 山田 大輔氏

⑤児童精神科病棟の紹介～子どもの心の診療センター～

宮崎東病院案納 知久氏（OT）

⑥小児に対する CI 療法

南九州病院 森本 翼氏（OT）

⑦DPAT の紹介と活動

南九州病院 平位 和寛氏（OT）

報告

「平成 29 年度個別指導（再指導）を受けての内容報告」

宮崎東病院 仮上 透氏

講評

九州グループ医療担当理学療法専門職

長崎病院羽島 厚裕氏

九州グループ医療担当作業療法専門職

西別府病院 高木 利栄子氏（OT）

意見交換会



活動報告

鹿児島・宮崎県合同研修会を終えて

宮崎病院 荒井 慎一

平成 29 年 7 月 8 日、宮崎東病院にて鹿児島・宮崎県合同研修会が開催されました。当研修会は毎年開催されているもので、今年は 7 施設から PT、OT、ST 合わせて 43 名の方たちの参加がありました。

今回は「これからの医療」をテーマとし、特別講演では、宮崎東病院の松下隆文事務部長にお忙しい中、ご無理をいってお越しいただき「日本の医療制度と国立病院機構について」という演題で、大変貴重なお話を熱く講演していただきました。増えつづける医療費、高齢化の進行、人口減少という問題をかかえるなか、それぞれの病院は疾病構造の変化に応じて何が求められているのか、また国立病院機構の現状と今後についてご講義いただき、これからの医療についていろいろと考えさせられ、大変勉強になりました。

演題発表の部では、テーマに即したものを含め 7 演題が集まり、どれも貴重な内容ばかりで、この場でご紹介できないのが誠に残念ですが、研修会に参加された方たちは皆、おおいに参考になり、またおおいに刺激になったのではないのでしょうか。

プログラム最後の方では、宮崎東病院の仮上透理学療法士長より、個別指導を受けての内容報告があり、皆、明日は我が身という思いで、各施設とも大変参考になったと思います。私自身、昨年まで宮崎東病院にいたので、非常に身の置き所がない思いでした。

研修会終了後の意見交換会には、28 名の参加をいただきました。日ごろなかなか会って話ができない方たちとお話をする機会をもつことができ、おいしくお酒が飲めました。(酒はいつでもおいしいですが・・・)

今回、研修会長を務めさせていただいて感じたことは、何よりも皆様からいただいたご協力に対する感謝です。いろいろとご相談に乗ってくださった方々、ご無理なお願いを引き受けてくださった方々、座長や演題発表を快く引き受けてくださった方々、悪天候が心配されるなか遠路はるばる参加してくださった方々、会場準備と当日の会場運営をしてくださった宮崎東病院の方々……。つまり、すべての人に感謝申し上げます。そして、今度、自分が協力させてもらう立場になったときは、ご恩返しのつもりで、精一杯協力させていただこうと思っています。

国立病院理学療法士協議会 九州部会活動計画（案）

第 45 期 活動計画

昨期同様 2025 年が切迫する中で、病床機能分化、地域医療への転換が図られる中、引き続き、施設規模や今後の情勢に適応した職場づくりをしていく中で昨期十分に対応できなかったポストの増加や会員数の増加への働きかけを行えるよう努力していきたい。

研修及び人材育成については、NHO 特有の 5 疾病 5 事業に関するものや、セーフティネット系あるいは地域連携、地域包括ケアシステムに絡むテーマを引き続き取り入れながら実施していきたい。また中堅、新人スタッフ向けの内容も充実させていきたい。会費運営を行う中で費用対効果の検証を行いながら実施していく。

その他の分野においては、施設間の情報交換がしやすくなるような体制づくりを行う。

また作業療法士協議会・言語聴覚士協議会と連携をとりながらリハビリテーション部門の結束力を高めていく必要がある。引き続き九州部会の発展と円滑な会務運営にご協力をお願いしたい。

平成 30 年 1 月 28 日に第 11 回国立病院九州医療技術学会及び意見交換会の開催が予定されている。是非多くの参加をお願いしたい。

事業計画

会長・ 副会長	<ol style="list-style-type: none"> 本部協議会開催行事 <ol style="list-style-type: none"> 第 32 回 国立病院理学療法士協議会理事会・第 43 回 国立病院理学療法士協議会総会（H29.11.9 高松市） 第 33 回 国立病院理学療法士協議会理事会（H30.6 東京医セン） 九州部会関係 <ul style="list-style-type: none"> 職場長会議開催 2 回（1 月・9 月を予定） PT・OT・ST 連絡会への出席 職場環境を考える会への出席 平成 30 年度 NHO 九州グループ新人研修会講師 国立病院九州医療技術協議会関係 <ul style="list-style-type: none"> 理事会、学会準備委員会参加 部会会務全般統括
理事会	<ol style="list-style-type: none"> 会議 2 回（1 月・9 月を予定） メールによる会議（随時）

活動計画

事務局	1. 文書発送 2. 会員管理 3. 会費徴収 4. 総会、理事会、職場長会議議事録作成 5. ホームページの随時更新（H.P. 担当）	
学会局	1. 第 11 回国立病院九州医療技術学会 開催支援 主催：国立病院九州医療技術協議会 日時：平成 30 年 1 月 28 日（土）13 時～17 時（予定） 会場：ももち文化センター大ホール テーマ：災害に備える 学会長：沖 茂彦 氏（国立病院臨床検査技師協会九州支部会）、副学会長：佐藤文保 氏（国立病院言語聴覚士協議会九州地区協議会） 2. 第 7 回九州部会学会開催準備 開催場所、学会長について順次検討 3. 平成 29 年度業績集作成	
研修局	1. 研修会の企画・運営 平成 29 年 12 月 「新人職員のためのランクアップ研修～新人療法士の知っておくこととこれから～」 平成 30 年 2 月 第 2 回重症心身障害児者研修会 平成 30 年 6 月 中堅者向けの研修（内容未定） 平成 30 年 9 月 P T ・ O T ・ S T 合同研修会	
調査局	1. 施設リハ部門紹介アンケート調査（2018 年度版）実施及び作成 2. 各種調査実施	
広報局	1. 会報誌発行（2 回/年）	
地区	福岡	情報交換会（役職職員） 各施設の赤字幅が増え経営環境が切迫する中、診療報酬（単位数等）を含めリハビリテーション科としての方向性や施設ごとの問題点を考える。
	佐賀	平成 30 年夏に長崎県主催で長崎県と合同の研修会を開催予定 会場は長崎医療センターを予定
	長崎	平成 30 年夏に長崎県主催で佐賀県と合同の研修会を開催予定 会場は長崎医療センターを予定
	大分	平成 30 年 3 月あるいは 6 月に県内 3 施設合同の懇親会を予定
	熊本	未定

活動計画

	宮崎	1. 宮崎県合同懇親会 日時：平成 30 年 2 月 場所：未定 2. 第 14 回鹿児島・宮崎県合同研修会 日時：平成 30 年 6 月 場所：南九州病院 学会長：指宿医療センター運動療法主任 大浪徳明 氏
	鹿児島	1. 県内懇親会開催予定 2. 第 14 回鹿児島・宮崎県合同研修会 日時：平成 30 年 6 月 場所：南九州病院 学会長：指宿医療センター運動療法主任 大浪徳明 氏
	沖縄	1. 琉球病院を含む 3 施設での意見交換会を開催予定
選挙管理委員会	・特になし	
キャリアアップシステム委員会	1. 委員会開催 平成 30 年 1 月予定 2. 第 6 回プリセプター養成講習会 開催予定 平成 30 年 3 月予定	
倫理委員会	相談窓口業務	
職場環境を考える会	「働きやすい職場」についてのアンケートを実施 ⇒結果を職場長会議で報告予定	



議事録

PT・OT・ST 協議会連絡会 議事録

日時：平成 29 年 5 月 26 日（金）

場所：九州医療センター

出席者：梶原 PT 協議会会長、田中 OT 協議会会長、
佐藤 ST 協議会会長

議事

1. 医療技術学会の対応について

シンポジスト講師

PT：該当者なし。熊本の震災を経験した熊本再春荘病院長か？鹿児島医療センターの藤崎作業療法士が理学療法士協議会九州部会学会で JRAT での活動を発表していただいた。

OT：菊池病院の江口副作業療法士長が以前総合医学会で震災について発表を行っていた。

ST：該当者なし

第一候補を菊池病院の江口副作業療法士長に依頼（OT 会長担当）

第二候補を鹿児島医療センターの藤崎作業療法士に依頼（OT 会長担当）

意見交換会

余興について現在、ヨサコイを企画検討中とのこと。

役割分担について、詳細が決まり次第、ST 協議会より PT・OT 協議会に依頼の連絡あり。

2. 総会について

日時：平成 29 年 9 月 2 日（土）

場所：福岡東医療センター（福岡東 PT 士長に PT 協議会会長より確認したのちに最終決定）

研修内容：

- ・放射線医師もしくは診療放射線技師による画像読影について
- ・研究法について

第一候補は放射線科医師による画像読影、がんリハ（radiation）などについて話をしていただく予定（ST 会長依頼担当）

懇親会：今回は会場でケータリングで実施という形はどうか？（施設が OK か確認する：OT 会長担当）

3. その他

特になし

国立病院理学療法士協議会九州部会 役員会 議事録

日時：平成 29 年 5 月 19 日（金）19：45～21：45

場所：大分県玖珠郡玖珠町

出席者：梶原秀明・坂本浩樹・大浦宏樹

1. 協議会運営について

1) 協議会活動状況と今後の計画について

研修局・・・平成 28 年 12 月 10 日神経難病研修会を開催、施設より取り組みの状況を報告していただいた。報告していただいた施設には負担をかけたが、研修会自体は大変有用な内容であった。平成 29 年 2 月 11 日に予定していた研修会は天候不良のため中止した。講師依頼も済みであり、講演の準備もしていただいていたことから、別の機会に講演をしていただくよう調整したい。

6 月 10 日に第 5 回心臓リハ研修会を開催予定。7 月末に地域包括ケア病棟に関する研修会を企画予定。

学会局・・・平成 29 年 1 月 28 日に第 6 回部会学会を開催。会員外講師（九州グループ医療担当参事 福泉公仁隆先生）に基調講演を依頼。会員発表時も聴講していただき、質問・アドバイス等をいただいた。成功裏に終了した。次回に向け、タイムスケジュールや当日の役割分担をもう少し明確にするとさらに運営がスムーズに行えると思う。

広報局・・・平成 29 年 5 月に第 22 号会報誌を発行。今後は総会に合わせ次の号を発行予定。装丁は昨年同様の程度で。各行事についての記事を行事開催後、なるべく早めに広報局に報告していただく必要がある。

調査局・・・監査・病院機能評価受審状況・地域包括ケア、ADL 維持向上体制加算、目標設定等支援管理料・IT 環境・宿日直・リハ運営会議・土日、祝日出勤・医療安全ダブルチェック等について情報を収集するための調査を実施していただく。

事務局（ホームページ）・・・更新を可及的早期に実施する。個人情報保護の関係でメール等使用しにくい施設も出てきているようであり、今後研修や総会等の案内は SNS の公式アカウントも活用していく。

キャリアアップシステム委員会・・・タイムスケジュール等問題なく進めており、今後も継続する。

倫理委員会・・・今のところ特に相談事例なし

職場環境を考える会・・・会長（ST 佐藤氏）の招集があれば対応。総会時に何らかの研修を行うか？

2) 第 44 期総会日程と研修内容、場所について

日程について・・・平成 29 年 9 月 2 日（土）で他協議会と調整中。

議事録

場所は未定。ここ数年福岡東で実施しており、施設スタッフの負担が大きいため、福岡あるいは鳥栖周辺の交通のアクセス、会場の収容人数等を含め検討する。

研修内容は他協議会と検討する。場合によっては、中堅職員や新人職員などのグループワーク等も検討してよいのか？

3) 役員改選について

次期総会時に任期満了に伴う役員改選を行う。規約に従い、会長・理事・監事の選出を行う。選挙日が9月2日となる可能性が高いため、逆算すると90日以前の公示、60日以前の立候補締め切りはそれぞれ6月4日、7月4日となる。6月2日（金）に公示を行い、立候補締め切りは7月4日（当日消印有効）とする。

立候補がなければ理事会で推薦する。

2. 本部理事会（H29.6.3）出席に向けて

九州部会活動状況報告、九州グループ内の動き（地域包括ケア病棟運用状況、ADL維持向上等体制加算の運用）について報告する。

3. POS 連絡会開催に向けて

総会場所の検討、研修会の内容を検討、医療技術学会シンポジストの検討を行う予定。

4. 第71回国立病院総合医学会について（平成29年11月10～11日）

理事会については前日に行っていたが、今回の学会より、総会、意見交換会を前日に実施する予定。NHOの収支状況も踏まえ、総会への参加が減ることも予想されるため参加の声掛けが必要。

（予定）平成29年11月9日（木）13:00～21:00

理事会・協議会総会、PO合同意見交換会

5. 九州医療技術協議会について

1) 第11回医療技術学会について

議事録をみながら説明。学会日時、場所は決定済み。テーマも決定している。

今回副会長団体はリハ団体で言語聴覚士協議会が担当する。意見交換会は言語聴覚士協議会を中心に検討し、理学・作業療法士協議会も開催協力する。

6. その他

1) 内部監査事業に対する協議会の協力について

今後、専門職を中心に検討される内部監査事業について、協議会としても担当者配置するなど、可能な限りの協力を実施する。

2) 細則改訂について

非常勤職員についての会費徴収は細則の中に盛り込まれていなかった（現在、休職者、代替者からは会費徴収なし）。

非常勤職員は身分、待遇等不安定であり、会費は徴収しない方向で理事会に諮る予定。

以上
（文責：梶原）

新任中間管理者研修に参加して

大牟田病院 運動療法主任 由谷仁

この研修は「中間管理者としての役割と責任を認識し、コミュニケーション能力の向上を図るとともに…」といった内容の目的で、九州医療センターにて行われました。研修に参加した人たちは、リハビリだけでなく事務職やメディカルスタッフ、福祉職の昇任した職員が対象となっているため、総勢 59 名と大人数でした。

研修は 6 人ずつの班に分けられて、班の人はもちろん、他班の人とのディスカッションが多くあり、人見知りの私には少々しんどい状況がありましたが、講義自体は非常に興味深く、また勉強になることが多くて、楽しく学ぶことが出来ました。内容的にはコミュニケーションについてが主で、テクニカルなことから人生論まで多岐に渡って講義がありました。その中で特に印象に残っていることは、社会の流れでは従来の威圧型リーダーから貢献型のリーダーが求められてきていること、人には性格的な大まかなタイプがあるということ、指導する際のアドバイスはほぼ聞き入れてもらえないということ、他人と上手くいくためには自分がまず安定すること等でありました。また自分の考えや想いに関して考える時間もあり、自分を見つめ直すいい機会を頂きました。皆さんは自分について考える時間があったりしますか？私はなかなかそういう時間を最近持てなかったの、非常に貴重な時間でした。

ところで、私のことを知っている人は何人くらいいるのでしょうか？私が国立病院機構に入職した頃は九州部会の PT は 100 人いなかったと思います。それが、今は約 200 人と 2 倍以上に増えました。人数が増えてきたためか、または時代背景なのかわかりませんが、ここ最近では、ハラスメントについての話がよく耳に入ってくるようになり、益々他人との関わりに気を使わざるを得ない環境となってきているようです。また以前に比べ、ルールや決め事、すべき仕事（本当に必要かどうかは？ですが…）も増えている気がして、なんだか息苦しいなあと思うこともあります。そんなときは自分以外の外部に文句を言いたくなるそうですが、皆さんはどうですか？「あの人が悪い」とか「システムが悪い」とか…。しかし、それでは自分が安定することはないでしょう。そうではなく、自分にフォーカスすること、自分が楽しむためのことを考えるようにすることが、どうやら大切なようです。私もこう考えられるようにしていきたいなあと思いました。

最後に、今回研修に参加して改めて考える機会を得ることができました。毎日楽しいと思って生活する人と、嫌だなあと思って生活する人、5 年後 10 年後の人格形成にどう影響するかは想像するに難くないと思います。仕事を楽しめるかどうかは職場環境が良いかどうかにかかっています。子供みたいなことを言いますが、他人を否定せず皆で仲良くやっていくこと、その方向で色んなことを考えていくことが今後の私達に必要なことだと感じました。その方向さえ間違わなければ、良好な職場環境で楽しく仕事ができるのではないかと思います。いつか私と働くことがあるかもですが、その際はどうぞ優しくして下さい(笑)。いつでも心に「Enjoy」、なんだか素敵なことではないでしょうか。

会員投稿

心臓リハビリテーション指導士の取得に向けて

鹿児島医療センター 理学療法士 安永容子

今年度、岐阜県で行われた第18回心臓リハビリテーション指導士試験で無事に“合格”することができました。心臓リハビリテーション(心リハ)については、当院でも実施しており、元々興味がありましたが、他施設の心リハの取り組みにも興味がありました。そこで2年前に福岡東医療センターで開催された理学・作業療法士特定機能派遣研修(Ⅱ)に参加させていただき、福岡東医療センターの心リハの取り組みを学ばせて頂きました。

昨年半ばから心リハに関わる機会が増え、更なる知識の向上を目的に今回心臓リハビリテーション指導士の資格取得を目指すこととしました。受験には、まずは10症例の症例レポートを仕上げ、書類選考を受けます。その後、学会終了後にある各分野別の講習会に参加し、最終日に60分間で50問の試験を受けるといった流れでした。試験当日はなかなかタイトなスケジュールで講義が組まれており精神的にも身体的にも疲労しましたが、無事に試験を終え、合格発表をホームページで確認した時は言葉では表しきれないぐらいの嬉しさがありました。

合格までの流れの中で、症例レポートの作成時にご指導下さった先生方や試験勉強に取り組む私に対し一緒に勉強を教えて下さった先輩方々、そして福岡東医療センターでの特定技能派遣研修で、お世話になりました先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。臨床ではこれからがスタートですので、今後も勉強に取り組み、当院での心リハをより改善し患者さんに提供できるように頑張りたいと思います。



役員名簿

九州部会 役員名簿（案）

平成 29 年 10 月 1 日現在

会長

坂本 浩樹（熊本再春荘病院） 理学療法士長

副会長

藤崎 暢（熊本南病院） 理学療法士長

渡邊 靖晃（佐賀病院） 副理学療法士長

県理事

[福岡]	竹下 明伸	（福岡病院）	理学療法士長
[佐賀]	村上 寿一	（嬉野医療センター）	副理学療法士長
[長崎]	峰松 俊介	（長崎病院）	運動療法主任
[大分]	河野 泰之	（別府医療センター）	運動療法主任
[熊本]	高野 雅弘	（熊本医療センター）	理学療法士長
[宮崎]	出口 敬浩	（都城医療センター）	運動療法主任
[鹿児島]	福山 浩二	（南九州病院）	運動療法主任
[沖縄]	今村 康子	（沖縄病院）	理学療法士長

監事・相談役

井形 勉（大牟田病院） 理学療法士長

梶原 秀明（大分医療センター） 理学療法士長

選挙管理委員

福満 俊和（長崎医療センター） 運動療法主任

溝口 智紀（大分医療センター） 理学療法士

局長

[事務局]

（会計担当）

（HP 担当）

[学会] 未定

[研修] 未定

[調査] 未定

[広報] 未定

キャリアアップシステム委員

羽島 厚裕（理学療法専門職） 長崎病院 理学療法士長

未定

職場環境を考える会 委員

羽島 厚裕（理学療法専門職） 長崎病院 理学療法士長

未定

未定

未定

倫理委員

未定

未定

国立理学療法士協議会九州部会 第45期活動スケジュール(案)

	会議	会長・副会長	事務局	研修局	学会局	広報局	調査局	キャリアアップ システム委員会	選挙管理 委員会	倫理 委員会	職場環 境を考 える会
H29 10月			会費徴収・本部送金								
11月		本部協議会理事会・総会 (11/10・高松)									
12月		国立病院九州医療技術 協議会理事会	年賀状発送	部会研修会							
H30 1月	理事会 職場長会議	国立病院九州医療技術 学会			国立病院九州医 療技術学会開催 支援			委員会開催			
2月				部会研修会							
3月					業績集収集			第6回プリセプター 養成講習会開催・ 反省会			
4月		九州グループ新人研修講師	人事異動状況調査 名簿、連絡先作成		部会学会開催準 備						
5月		POS協議会連絡会 役員会				会報誌発行					
6月		国立病院九州医療技術 協議会理事会 本部協議会理事会		部会研修会							
7月			総会等案内(メールに て)								
8月			総会等案内発送				施設リハビリ 部門調査				
9月	総会・理事会 職場長会議		総会資料作成	総会時研修会		会報誌発行					
備考			随時、HP更新				随時、調査実 施			随時、対 応	アン ケート まとめ

編集後記

九州北部での豪雨災害により、甚大な被害を受けられた皆さまに対して、心よりお見舞い申し上げます。

2018年度は、診療報酬と介護報酬の同時改定が行われ、今後の医療・介護施策において極めて大きな節目となる年度になります。地域包括ケアシステムの構築のため高齢者が医療と介護で切れ目ないサービスを受けられるよう連携の強化が必要となってきます。

九州管内施設でも地域包括ケア病棟（病床）を運営する施設が増え今後、導入を検討する際に情報の共有化や九州協議会の連携も更に重要となると思われます。

今回、会報誌第 23 号を発行するにあたり、会員の皆様にご執筆いただき完成する事ができました。ご多忙中にもかかわらず早く原稿執筆を引き受けていただきまして本当にありがとうございました。今後とも、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報局国立病院機構鹿児島医療センターリハビリテーション部黒岩剛成

E-mail : kuroiwa27@kagomc2.hosp.go.jp